2024年度 ビジネススクール スケジュール

			ブ巫珠にももっての心性?												
		<u>テーマ</u> 講 師	ご受講にあたっての心構え _{橋大学CFO研究センター センター長} 伊藤 邦雄氏												
	東京 大阪 8/17(土)	基調講演	企業価値を創造する経営 ~ガバナンス改革の深化と広がり~												
1	10:45~18:30	講師	ー橋大学CFO研究センター センター長 伊藤 邦雄氏												
'	【開講式】	ねらい	いま日本企業のガバナンスは大きな変革期に差し掛っている。その変革の大きな流れを理解する。 ガバナンス改革において、企業価値を創造する経営とは?自社の立ち位置を確認し、どのように変												
	【開講パーティー】 於:東京セミナー会場		ガバナン人以単において、正条順値を創造する経営とは、自社の立ち位置を確認し、このように変革すればよいのかを考えるきっかけとヒントを体感する。												
	100-300 C 2 2 300	主な内容	○ガバナンス改革は「形式」から「実質」へ ○「伊藤レポート」が訴えたこと												
			○ガバナンス改革とは何なのか ○なぜ、ESG、SDGsなのか ○企業経営における最大級の課題とは「4時間でわかる!決算書の見どころ・勘どころ」(詳細別頁ご参照)												
	東京大阪	テーマ													
OP	2.22411	講師	望月公認会計士事務所代表 公認会計士 望月 明彦氏 会計初学者の方でも明日からのビジネスシーンで自信をもって会話ができるようになる知識と、取引先や												
1	13:00~17:00	ねらい	競合他社の財務状況の把握により、危険な動きを察知する眼を養う。												
	オンライン	主な内容	○ "決算書"の基礎知識 ○P/L(損益計算書)はここを見る! ○B/S(貸借対照表)はここを見る! ○P/LとB/Sを分析してみる! ○演習決算書を読んでみよう!												
		テーマ	競争戦略 神央大学 大学院戦略経営研究科 教授 犬飼 知徳氏												
	東京大阪	ねらい	企業を取り巻く環境は不確実かつ高速で変化しており、単一の競争優位を長期的に持続するのは難しくなって きている。この状況では、従来の経営戦略フレームワークによる分析だけでは不十分であり、よりプロアクティブ												
2	8/24(±) 8/31(±) 9:30~17:30		な戦略思考が必要となってくる。それこそが、このセッションで学ぶ「メカニズム解明法」である。このセッションでは、エクササイズやワークショップを通じて、実際に使える知識として「メカニズム解明法」を身につけていく。												
	0.00 17.00	主な内容	○事前課題:ケース教材 ○エクササイズ:経営戦略の3つの思考法 ○ワークショップ:自社の事業を題材に考える												
		テーマ	マーケティング戦略 学習院大学 経済学部経営学科 教授 青木 幸弘氏												
	東京大阪	ねらい	「売れる仕組み」としてのマーケティングの基礎概念や戦略策定の視点・枠組を理解した上で、「売れ続												
3	9/7(±) 9/14(±)	主な内容	ける仕掛け」としてのブランド構築や関係性マーケティングについて、ケース・メソッドを用い検討する。 ○マーケティングの基礎概念:STPと4P ○需要創造、競争戦略のフレームワーク												
	9:30~17:30		○カテゴリー創造と「ブルーオーシャン戦略」 ○ブランド構築と関係性マーケティング ○ケース・メソッドによる討議とまとめ												
		テーマ	事業リスクマネジメント 講師 証 ERM経営研究所LLC CEO ブロティビティLLC 会長 前日本内部統制研究学会 会長 神林 比洋雄氏												
4	東京 大阪 9/21(土) 9/28(土)	ねらい	激変する経営環境において、経営理念の実現や戦略目標の達成に貢献するリスクマネジメントの重要性が高まっている。サステナビリティ経営を推進し、多様なステークホルダーの期待に応える全社的な												
4	9:30~17:30		リスクマネジメントの在り方を議論する。												
	0.00	主な内容	○激変する経営環境と新たなリスクへの対処 ○攻めと守りのリスクマネジメント体制の構築 ○企業価値に影響を与える可能性(リスク)の特定 ○リスク(可能性)の効果的な評価												
			○リスクマネジメントの成熟度を高める												
		テーマ	新時代のリーダーとリベラルアーツの重要性 講師 ^{東京工業大学 副学長} リペラルアーツ研究教育院 教授 日常の延長線上で捉えるだけではない、高い視座・広い視野を養う。 ト田 紀行氏												
		ねらい	日常の延長線上で捉えるだけではない、高い視座・広い視野を養う。												
		テーマ1	人的資本経営 -橋大学CFO研究センター センター長 伊藤 邦雄氏												
	東京 大阪 10/11~10/12(金·土)	ねらい	企業は人材戦略と経営戦略を同期させるプロセスを通して、中長期的な企業価値の向上に努める必要がある。「人材」を「資本」と捉え、企業価値を高めていく人材戦略のあるべき方向性を考える。												
5	【東西合同合宿】	主な内容	○人的資源管理から人的資本価値·創造へ ○人的資本投資を本格化させる												
6			○経営戦略と人材戦略の連動 ○人的資本の情報開示												
	於:大阪市内														
	セミナーハウス	テーマ2	経営改革とリーダーシップ 講師 一橋大学CFO研究センター センター長 伊藤 邦雄氏												
		テーマ2 ねらい	日本企業は組織の部分最適化(サイロ化)が深刻化し、組織間の連携や協働が阻害されている。なぜそうしたサイロ化が起こるのか、それを克服するためにどのように経営変革を実行するのか。今後の経営に												
	セミナーハウス		日本企業は組織の部分最適化(サイロ化)が深刻化し、組織間の連携や協働が阻害されている。なぜそうしたサイロ化が起こるのか、それを克服するためにどのように経営変革を実行するのか。今後の経営に望まれる人財像を提示する。 ○企業はなぜサイロ化するのか ○部分最適をどう克服するか												
	セミナーハウス	ねらい	日本企業は組織の部分最適化(サイロ化)が深刻化し、組織間の連携や協働が阻害されている。なぜそうしたサイロ化が起こるのか、それを克服するためにどのように経営変革を実行するのか。今後の経営に望まれる人財像を提示する。												
	セミナーハウス クロスウェーブ梅田	主な内容	日本企業は組織の部分最適化(サイロ化)が深刻化し、組織間の連携や協働が阻害されている。なぜそうしたサイロ化が起こるのか、それを克服するためにどのように経営変革を実行するのか。今後の経営に望まれる人財像を提示する。 ○企業はなぜサイロ化するのか ○部分最適をどう克服するか ○「マネージャー」とは異なる「リーダー」とは ○人財は戦略に従う ○求められる「統合型プロデューサー」とは												
7	セミナーハウス クロスウェーブ梅田	ねらい	日本企業は組織の部分最適化(サイロ化)が深刻化し、組織間の連携や協働が阻害されている。なぜそうしたサイロ化が起こるのか、それを克服するためにどのように経営変革を実行するのか。今後の経営に望まれる人財像を提示する。 ○企業はなぜサイロ化するのか ○部分最適をどう克服するか ○「マネージャー」とは異なる「リーダー」とは ○人財は戦略に従う ○求められる「統合型プロデューサー」とは ○自社課題探究のねらいとスケジュール説明 ○グループ内意見交換と課題テーマの検討横浜市立大学 ー橋大学 慶應義塾大学 公益社団法人日本マーケティング協会												
7	セミナーハウス クロスウェーブ梅田	主な内容	日本企業は組織の部分最適化(サイロ化)が深刻化し、組織間の連携や協働が阻害されている。なぜそうしたサイロ化が起こるのか、それを克服するためにどのように経営変革を実行するのか。今後の経営に望まれる人財像を提示する。 企業はなぜサイロ化するのか 部分最適をどう克服するか 「マネージャー」とは異なる「リーダー」とは 人財は戦略に従う 求められる「統合型プロデューサー」とは 自社課題探究のねらいとスケジュール説明 グループ内意見交換と課題テーマの検討横浜市立大学 ー橋大学 慶應義塾大学 公益社団法人日本マーケティング協会理事・副学長教授 大学院経営管理研究科教授 大学院政策メディア研究科特任教授 「サステナブルブランディング講座」講師												
	セミナーハウス クロスウェーブ梅田 自社課題探究I 東京 大阪 10/19(土)10/26(土)	主な内容	日本企業は組織の部分最適化(サイロ化)が深刻化し、組織間の連携や協働が阻害されている。なぜそうしたサイロ化が起こるのか、それを克服するためにどのように経営変革を実行するのか。今後の経営に望まれる人財像を提示する。 ○企業はなぜサイロ化するのか ○部分最適をどう克服するか ○「マネージャー」とは異なる「リーダー」とは ○人財は戦略に従う ○求められる「統合型プロデューサー」とは ○自社課題探究のねらいとスケジュール説明 ○グループ内意見交換と課題テーマの検討横浜市立大学 ー橋大学 慶應義塾大学 公益社団法人日本マーケティング協会												
見	セミナーハウス クロスウェーブ梅田 自社課題探究I 東京 大阪 10/19(土)10/26(土)	主な内容	日本企業は組織の部分最適化(サイロ化)が深刻化し、組織間の連携や協働が阻害されている。なぜそうしたサイロ化が起こるのか、それを克服するためにどのように経営変革を実行するのか。今後の経営に望まれる人財像を提示する。 企業はなぜサイロ化するのか 部分最適をどう克服するか 「マネージャー」とは異なる「リーダー」とは 人財は戦略に従う 求められる「統合型プロデューサー」とは 自社課題探究のねらいとスケジュール説明 グループ内意見交換と課題テーマの検討横浜市立大学 ー橋大学 慶應義塾大学 公益社団法人日本マーケティング協会理事・副学長教授 大学院経営管理研究科教授 大学院政策メディア研究科特任教授 「サステナブルブランディング講座」講師												

■ 未水仅用																																																	
2024年 8月 9月									10月							II 月								12月								2025年 月							2月										
E	F	3 3	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	_ ±	E	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	±
					1	2	3	ı	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5						ı	2	ı	2	3	4	5	6	7				ı	2	3	4							ı
4	5	: (6	7	8	9	10	8	9	10	П	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	П	12	13	14	5	6	7	8	9	10	Ш	2	3	4	5	6	7	8
I	1 13	2 I	3	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	4 15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	9	10	П	12	13	14	15
18	3 1	9 2	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	1 22	2 23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27 2	28	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
2	2	6 2	27	28	29	30	31	29	30						27	28	3 29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30	31	٦	23	24	25	26	27	28	

■ 望月公認会計士事務所代表公認会計士 望月 明彦氏 財務戦略 講 師 東京 大阪 キャッシュ・フローの重要性を理解し、キャッシュ・フロー計算書から資金の流れや企業の成長段階を 11/2(土) 8 読み取れるようになる。また財務分析により課題を発見し、戦略提案を行う。 10:00~17:00 ○キャッシュ・フローから企業の成長段階を読み取る ○キャッシュ・フロー計算書を読めるようになる オンライン ○グループワークにより、上場企業の決算書を財務分析し、今後の戦略を検討する コーポレートファイナンス 大阪公立大学大学院 講 師 宮川 壽夫氏 経営学研究科 教授 コーポレートファイナンスの基本的理論を身につけるとともに、実際の企業価値算定プロセスを体得 大 阪 (東京) する。これらの知識を実際に自社にあてはめ、自社の企業価値拡大シナリオを検討する。そのための論理 11/9(土) 11/16(土) 9 構成とノウハウを学び、企業価値という概念の合理性を正確に知るとともに、限界について考える。 9:30~17:30 ○コーポレートファイナンスの思考回路 ○企業価値とはなにか ○資本コストという考え方 主な内容 ○企業価値と財務指標との関係 ○企業価値と経営戦略との関係 ○自社のエクイティシナリオ構成(ワークショップ) 株式会社ビタリー 代表取締役 事業創造におけるデジタル技術の活用法 東京 大 阪 片倉 健氏 ~成熟した組織におけるDXの効果的な進め方~(詳細別頁ご参照) **OP** 11/14(木) ねらい 18:00~20:15 事業創造領域を中心にDXをよりシンプルに、組織で機能する形で検討する方法論をワーク形式で共有する。 オンライン 主な内容 ○DX推進のための考え方を学ぶ ○アイデア立案~社会実装ステップを検討する(ワーク) 弊社HR第3部 プリンシパル 組織人事戦略I 小川 昌俊 ~人材マネジメント(戦略的人的資源管理) ねらい 組織及び人事の企業経営における位置づけを理解し、組織設計、人事制度設計、組織風土改革などの施策立案に環 東京 境要因、経営戦略・事業戦略などの要素をどう織り込んでいくのか?という点について理論と実践の両面から学ぶ。 10 11/23(土) 11/30(土) ○「戦略と組織」:組織論・組織設計~講義&ディスカッション 主な内容 9:30~17:30 ○「戦略と人事」:人的資源管理と人事制度設計について~講義&ディスカッション ○「ケーススタディー」: 1・2の講義で学んだ内容を基にケーススタディーを実施 ○「日本企業における組織と人事」:日本企業の状況・組織特性を踏まえた総括 主な内容 自社課題探究のメンター宛第1次プレゼンテーション(おひとり50分程度) 自社課題探究Ⅱ 大阪校 横浜市立大学 一橋大学 慶應義塾大学 公益社団法人日本マーケティング協会 舖 12/13(金) 11 東京 大 阪 理事·副学長 教授 大学院経営管理研究科 教授 大学院政策メディア研究科 特任教授 「サステナブル・ブランディング講座」講師 野間氏 12/7(土) 12/14(土) 中條 祐介氏 野間 幹晴氏 横田 浩一氏 細田 悦弘氏 ____ 元GEクロトンビル・アジア・パシフィック 田口 力氏 組織人事戦略Ⅱ プログラム マネジャー ~エグゼクティブ・リーダーシップ 東京 大 阪 ねらい 企業の経営幹部として求められる「真のリーダーシップ」を発揮するための必須要件を習得、自己変容 12/21(土) 2025年 のきっかけとする。戦略遂行と組織変革を加速するリーダーになるための行動指針を獲得する。 12 1/11(土) -ダーシップとは何か。なぜ必要なのか 主な内容 9:30~17:30 ○VUCA時代(複雑で曖昧な時代)を勝ち抜く組織の要件とリーダーシップ ○グローバルに活躍する経営幹部に共通する要素 ○戦略を遂行し、成果をもたらすリーダーとは ○組織革新の先導者としての役割認識と展開 ○混じり気のない本物のリーダーになるために 東京校 2025/1/10(金) 主な内容 自社課題探究のメンター宛第2次プレゼンテーション(おひとり50分程度) 自社課題探究Ⅲ 東京校 2025/1/18(土)か1/24(金) 公益社団法人 一橋大学 慶應義塾大学 へ変更の可能性あり 横田氏 東京 13 日本マーケティング協会 横浜市立大学 大学院経営管理研究科 大学院政策メディア研究科 大阪校 2025/1/18(土) 中條氏 2025年 2025年 「サステナブル・ブランディング講座」講師 特任教授 理事·副学長 教授 教授 大阪校 2025/1/25(土)か1/31(金) 1/11(土) 1/25(土) 中條 祐介氏 野間 幹晴氏 横田 浩一氏 細田 悦弘氏 へ変更の可能性あり 横田氏 AI&VUCAの時代のイノベーション発想法 オフィス134代表 細谷 功氏 講師 東京 【 大 阪 ねらい AI時代にこそ求められる「自ら考える力」を習得する。イノベーション発想とオペレショーン発想の違いを 2025年 2025年 理解し、新しいビジネスへの応用のためのアナロジー思考を習得する。 14 1/25(土) 2/1(土) ○知識から思考へ ○イノベーションとオペレーションの発想の違い○イノベーションのためのアナロジー思考とは? ○アナロジー思考のビジネスへの応用例 主な内容 9:30~17:30 ○アナロジー思考を用いたイノベーションアイデアの創出演習 自社課題探究IV 主な内容 自社課題探究のメンター宛第3次プレゼンテーション(おひとり50分程度) 東京校 一橋大学 慶應義塾大学 公益社団法人 東京 大 阪 15 横浜市立大学 大学院経営管理研究科 大学院政策メディア研究科 日本マーケティング協会 $2025/2/1(\pm)$ 2025年 2025年 「サステナブル・ブランディング講座」講師 理事·副学長 教授 教授 特任教授 野間氏 2/8(土) 2/15(土) 中條 祐介氏 野間 幹晴氏 横田 浩一氏 細田 悦弘氏 大 阪 東京 テーマ未定(教養的テーマについて講義) 義 2025年 未定 2/22(土) 16 11:00~19:30 テーマ未定 【修了式】【修了パーティー ー橋大学CFO研究センター センター長 伊藤 邦雄氏 於:東京セミナー会場 大阪校開催日 □自社課題探究実施日 2024年 8月 10月 **12**月 I 2 3 4 5 6 7 I 2 3 4 5 1 2 3 4 5 6 7 1 2 3 1 2 I 2 3 4 4 5 6 7 8 9 10 8 9 10 11 12 13 14 7 8 9 10 11 12 4 5 6 7 8 9 9 10 11 12 13 14 6 7 8 9 10 11 2 3 4 5 6 7 8

9 10 11 12 13 14 15

16 17 18 19 20 21 22

23 24 25 26 27 28

11 12 13 14 15 16 17

18 19 20 21 22 23 24

25 26 27 28 29 30 31

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

29 30

13 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30 31

10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28 29 30

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

29 30 31

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31